

19. 令和4年度京都府てんかん診療地域連携事業：拠点病院からの活動報告

京都大学医学部附属病院 てんかん診療支援センター
センター長 池田昭夫
てんかん診療支援コーディネーター 高谷美和
運営委員 松橋眞生

(1) 概要

京都府では、本年度よりてんかん地域診療連携体制整備事業が始まり、2022年12月1日付で京都大学医学部附属病院がてんかん支援拠点病院の指定を受けた。

京都府は、京都大学医学部附属病院と京都府立医科大学附属病院が隣接してある京都・乙訓医療圏では、人口密度も高くてんかん診療の標準化と均てん化は全国レベルである。一方北部地区と南部地区は、てんかん診療の核となる病院がなくまた過疎地域も多く、京都府内で地域により格差が大きい実態がある。今後、2大学病院と、京都府医師会が中心医療機関となって、行政各分野との有機的な連携のもとで、京都府内全体の標準化と均てん化を図ることが、現在の最大の課題の一つとなっている。

今回、拠点病院となった京都大学医学部附属病院は、てんかん患者様への包括的な医療・福祉支援を目的として2018年11月にてんかん診療支援センターを設置し、今までもてんかん整備事業に関わることも行ってきた内容も一部含めて、以下に報告する。

(2) 拠点病院の診療実績

京都大学医学部附属病院では、てんかん患者様への包括的な医療・福祉支援を目的として2018年11月にてんかん診療支援センターを設置した。関連する診療科、看護部、検査部、事務部による運営委員会を定期的開催し方策を協議してきた。

てんかんの専門外来の体制

	月	火	水	木	金
小児科	横山 淳史 吉田 健司			横山 淳史	吉田 健司
脳神経内科	池田 昭夫 宇佐美 清英 小林 勝哉	人見 健文 (隔週)	小林 勝哉 (隔週)	池田 昭夫 (午前) 尾谷 真弓	下竹 昭寛 松橋 眞生 (隔週) 宇佐美 清英 (隔週) 戸島 麻耶
脳神経外科	菊池 隆幸		菊池 隆幸		山尾 幸広
精神科神経科				植野 司 (午前)	

※精神神経科医師による診察は、脳神経外科診察室での神経心理外来枠にて提供している。

2021年度（2021年4月1日～2022年3月31日）の診療実績は以下の通りである。

てんかん外来新患者数：小児科 25 例/年 成人科 149 例/年

てんかん入院患者数：小児科 40 例/年 成人科 87 例/年

長時間ビデオ脳波モニタリング施行数：小児科 60 例/年 成人科 17 例/年
てんかん外科手術：16 例/年

(3) てんかん整備事業

① 啓発資材の提供

京都大学病院てんかん診療支援センターでは、2018年11月から、添付のように、院内だけではなく、広く京大病院だけでなく外部のてんかん患者さん及び他施設の診療医、medical staff への啓発資材、医療関係者への臨床で利用できる資材（45種類）を、PDFでダウンロードできるように提供している。（著作権がある資材は全て本利用のために許可を取得済み）
（添付資料1） http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j/information

② てんかん相談

2022年12月より、毎週月/火/金曜日、隔週水/木曜日の10-14時にコーディネーター（2023和年2月現在、非常勤医医師が担当）による相談窓口を開設した。来院による直接相談、電話、書面（郵送）で相談が可能。（添付資料2）

③ 京都府下の医療機関へのアンケート調査

京都府および近隣地域の診療連携体制の構築を目的として、京都府医師会の協力のもとでてんかん診療体制の調査のためアンケート調査を実施中である。アンケートの結果については、相談事業での有効利用とともに、以下の(3)の⑥の「第2回京都てんかん診療講演会」で報告を予定している。

④ てんかん治療医療連携協議会

てんかん治療医療連携協議会の準備会議を2018年から2大学病院、京都府、患者団体、京都府警などと毎年開催して、問題点の議論と情報共有をしてきた。
2022年度からの本協議会の正式発足を、現在京都府、関連機関と調整中である。現時点では、構成委員として2大学病院、京都府健康福祉部、精神保健福祉センター、保健所、てんかん協会、京都府警、府下医療機関などの関係者を想定している。

⑤ 「左京区13病院リレートーク」（オンライン形式）

2023年2月22日、京都市左京区の医療機関の地域連携担当者が集まるオンライン会議で、てんかん支援センターの紹介や情報交換を行った。

⑥ 京都府内の合同てんかん講演会

第2回京都てんかん診療講演会は、2023年3月9日、京都府、一般社団法人京都府医師会、京都府立医科大学附属病院、京都大学医学部附属病院の主催で開催予定である。京都府全域の医療機関、複数の診療科の医療関係者に講演いただき、府内の各地域や診療科におけるてんかん診療の状況、問題点を共有する内容となっている。（添付資料3）

(4) 教育・啓発活動

① 一般社会の皆様への教育・啓発活動

てんかん診療支援センターのホームページ上では、医療関係者、患者ともに利用が可能なたんかんに関する各種資料を著作権をクリアしたうえで公開している。(3)の①と一部重複。

http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j

また、京大病院のYouTubeチャンネルである「教えて京大病院」において、てんかんの病気の説明や治療について解説した動画を作成して公開している。

https://www.youtube.com/playlist?list=PLwXXo1S0XWzFBBxK_rKzYOR2fQQDjLA5V

② 医療関係者への教育・啓発活動

病院内外の医療関係者を対象に、月1回の脳機能てんかんカンファレンス(京都市内及び隣接府県の多くの病院・診療科連携の症例検討会)、週1回の脳波判読会(院内、京都市内、全国の都道府県の医師を対象)をオンラインで実施している。

(5) 課題と今後の予定

・京都府では、医療圏によるてんかん三次診療が可能な専門機関への受診率の偏りが課題となっており、地域かかりつけ医との情報共有・連携も進めていく。

・さらに、標準化と均てん化の解消の方法の一つとして遠隔脳波診断を普及させるため、京都大学医学部附属病院にて遠隔脳波診断、遠隔診療の提供を行う準備をしている。

添付資料1



Kyoto University Hospital
Kyoto University School of Medicine
Department of Epilepsy, Movement Disorders and Physiology
Shogoin Sakyo-ku, Kyoto 606, JAPAN

京大病院てんかん診療支援センター、臨床用資料PDFご利用のご案内

日頃より、京大病院のてんかん診療にご協力賜りまして誠にありがとうございます。
京大病院てんかん診療支援センターが、てんかん患者に対する包括的かつ効率的な診療とその支援に関すること、てんかんに係る臨床研究の推進に関することを目的として、2018年11月1日に設置されました。

<https://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp/department/division/ecsc.html>



てんかん診療
支援センター
ホームページ

http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j



パンフレット

http://epilepsy.med.kyoto-u.ac.jp/supportcenter_j/information

以下の目的の3)は、患者さんと医療関係者の皆様に、ダウンロードしていただき、個人利用で、どなたでもご利用できます。関連病院、外勤先等、幅広くご利用いただけましたら大変幸いです。

=====

目的

- 1) 診療科・事務部・看護部の連携で、てんかん外来を稼働します。(外来棟2階の2CD)
- 2) 既存の各診療科のてんかん専門外来の情報をわかりやすく紹介します。
- 3) てんかん診療に必要な各種情報は、患者さん向けのパンフレットから、医療関係者向けの情報提供資料まで、大変幅広く多岐に渡ります。30種類近くのパンフレットを大項目で整理して、ホームページにアップロードしました。コピーライトがある資料は許諾を頂戴した資料ですので、どなたでも個人利用に限ってご使用いただけます。

=====

皆様のご協力とご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。
今後どうぞよろしくお願い申し上げます。

2019年1月7日

京大病院てんかん診療支援センター長
池田昭夫

添付資料 2

**京都府てんかん診療支援事業
てんかんに関する相談窓口のご案内**

- ・ 患者様と関係者の方を対象にてんかんに関する無料相談を行っています。
- ・ てんかんと診断をうけていない方、病院を受診していない方からのご相談も積極的に受け付けています。
- ・ 医療・福祉に関する国家資格を有した診療支援コーディネーターが担当致します。

場所: 京大病院（京都府てんかん支援拠点病院）
相談時間: 10-14時 毎週月/火/金曜日、第1/3水曜日、第2/4/5木曜日（2023年1月時点 変更の可能性あります）
相談方法: 電話相談、来院による相談、書面（郵送）でのご相談が可能です
 ※緊急時を除いて予約制とさせていただきます
連絡先 外線：075-751-3047（総合案内よりコーディネーターへおつながります） 内線：2-6560
郵送: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町54 てんかん診療支援センター コーディネーター宛

- 過去の相談内容の例:** 医療機関の受診、選択、紹介について
 てんかんという病気自体について
 就労・就業について
 就学について
 妊娠・出産について
 医療・福祉サービスの利用について
 （2022年全国てんかん診療支援コーディネーター研修会より）

てんかん診療支援センター

添付資料 3

第二回
京都てんかん診療講演会

「てんかん地域診療連携体制整備事業の開始にあたって」

日時 2023年3月9日(木)
18時00分～20時10分(予定)

対象 府内でてんかん診療に関わる可能性のある全ての医療関係者・医療系学生

場所 オンライン (Zoom)

主催 京都府
京都府医師会
京都府立医科大学附属病院
京都大学医学部附属病院

ゲスト


 市立福知山市民病院
小児科部長
藤野 雅治 先生


 嵯峨ルネス病院
脳神経内科 部長
渡邊 亮 先生


 京都府立医科大学附属病院
脳神経内科 部長
太田 真紀子 先生


 川崎病院
院長
川崎 淳 先生

お申込み

【方法】URLまたはQRコードよりお申込みください
<https://bit.ly/3Ff8uG>
 【締切】2023年3月7日(火)

事前アンケート

京都府におけるてんかん診療の現状についてご意見をお聞かせください。開催当日、アンケート結果をもとにパネルディスカッションを実施予定です。
 【アンケート】<https://bit.ly/3H8Tzoz>
 【回答締切】2023年3月2日(木)

【お問い合わせ】京都府立医科大学医学部附属病院地域医療連携室（平日9～17時）
 TEL:075-751-4320 FAX:075-751-3115 Mail:tsudoi@kump.kyoto-u.ac.jp

講演会プログラム

開会の辞 京都大学医学部附属病院 病院長
京都府健康福祉部 保健医療対策室

宮本 亨
中川 正法

第1部 現在のてんかん診療の問題点

座長・司会 京都府立医科大学 医学部看護学科学科小児科学教授 森本 昌史
京都大学医学部附属病院 脳神経外科 准教授 吉田 和道

講演1 てんかんのトランジション 藤野 雅治 先生

講演2 高齢者てんかん 田中 章浩 先生

講演3 てんかん患者の精神症状 植野 司 先生
京都府立医科大学 大学附属医学研究科 脳神経内科学 学内講師
京都大学医学部附属病院 総合臨床教育・研修センター/精神科神経科

第2部 京都でのてんかん地域診療連携体制整備事業の推進

座長・司会 京都府立医科大学 脳神経内科学 教授 水野 敏樹
京都大学医学部附属病院 小児科 助教 吉田 健司

講演1 北部医療圏の現状：非てんかん専門医の立場から 渡邊 亮 先生
嵯峨ルネス病院 脳神経内科 部長

講演2 南部医療圏の現状：限られた医療資源の中で 太田 真紀子 先生
国立病院機構高松病院 脳神経内科 部長

講演3 京都・乙訓医療圏の現状：てんかん支援拠点病院について 小林 勝哉 先生
京都大学医学部附属病院 脳神経内科 特定病院助教

パネルディスカッション

座長・司会 小児クリニック院長/京都府医師会 理事 高 漢
京都大学大学院医学研究科 てんかん・運動異常症学講座 特任教授 池田 昭夫

パネリスト 川崎病院 院長 川崎 淳 先生
嵯峨ルネス病院 脳神経内科 部長 渡邊 亮 先生
国立病院機構高松病院 脳神経内科 医師 太田 真紀子 先生
京都大学医学部附属病院 脳神経内科 特定病院助教 小林 勝哉 先生

閉会の辞 京都府立医科大学附属病院 病院長

夜久 均

【お問い合わせ】京都府立医科大学医学部附属病院地域医療連携室（平日9～17時）
 TEL:075-751-4320 FAX:075-751-3115 Mail:tsudoi@kump.kyoto-u.ac.jp